

萩原町連区地域づくり協議会だより

みんなで考え、知恵を出し、参加する、新しいまちづくり



萩の花

発行日：令和4年9月1日

第90号

発行者：萩原町連区地域づくり協議会 一宮市萩原町萩原字河原崎79（萩原町出張所内）電話28-9009

「連区敬老会」のお知らせ

報告者：ふれあい福祉部会長 花木達美

この2年間、敬老会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止を余儀なくされてきましたが、今年度は3年ぶりに開催をいたします。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止する場合があります。

開催に当たり感染防止対策の徹底をし、皆様の健康を最優先に考え実行してまいりますので、皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、演芸には、萩原中学校生徒によるギターマンドリン、龍鼓による和太鼓の催しを予定しています。また、対象者には慰安会終了後に、テイクアウト用モーニングセット(ドーナツ・飲み物)をお配りします。

※会場でのご飲食は禁止します。

最後に皆様のご長寿を心からお祝い申し上げ、ご出席を心よりお待ちしております。



対象者：76歳以上の方(昭和21年12月31日までに出生の方)

日時：令和4年10月2日(日)

場所：中島小学校屋内運動場

受付：午前8時30分から9時30分まで(式典は午前9時より)

萩原町民運動会中止のお知らせ

報告者：連区公民館長 開現幸夫

本年度の萩原町民運動会は、規模を縮小し半日での開催を予定していましたが、コロナ感染者の爆発的な拡大のため中止を決定しました。皆様方には大変なご心労をおかけいたしまして申し訳ございませんでした。

第56回全国選抜チンドン祭を3年ぶりに開催しました

報告者：萩原チンドンまつり実行委員会 実行委員長 岩田晴季

5月22日(日)、心地よい五月晴れの中、3年ぶりとなった第56回全国選抜チンドン祭を盛大に開催することができました。当日は、名古屋を始め、東京、大阪、九州のチンドン隊15組によるユーモアあふれる演技で、ご来場いただいた観客の皆様方を魅了し、笑顔あふれるチンドン祭にすることができました。また、萩原中学校の美術部の生徒さんによる舞台看板の作成や、萩原小学校の児童の皆さんのクリーンボランティア隊も祭りを盛り上げてくれました。

10月16日(日)には、第18回素人チンドン祭を開催する予定です。地元萩原のチンドン隊を始め、大学生チーム、社会人チームなどが萩原の町を笑顔あふれる町にしてくれることと思います。どうかお楽しみに。



今年のチンドン祭の様子

萩原町連区子ども会 ドッチビー スポーツ大会

報告者：萩原町連区児童育成協議会 会長 光田道成

7月2日（土）、7月3日（日）の2日間にわたり、第4回ドッチビー大会を3年ぶりに開催し萩原町連区の子ども会から25チーム311名の子ども達に参加しました。コロナ禍での開催にあたり、ルールを一部変更し感染対策を十分にとり無観客でおこないました。1日目の予選は5チームごとに5つのブロックでリーグ戦がおこなわれ、各ブロックを勝ち抜いた5チームで2日目の決勝



優勝した西御堂子ども会の皆様です

リーグ戦をおこないました。

静かな雰囲気の中で始まった大会も、試合を重ねるごとにコート内でのかけ声も自然と増え、どの試合も子ども達の熱意あふれる接戦となりました。

大会結果

優勝 西御堂子ども会
準優勝 西宮重子ども会

子ども見守りサービス「otta(オッタ)」導入について

報告者：萩原中学校 PTA 会長 光樂朋尚

萩原中・萩原小・中島小の3校PTAは、一宮商工会議所が地域課題解決スタートアップとして支援している(株)ottaが提案する「子ども見守りサービス」の事業内容に共感し、愛知県内全エリアに先駆けて萩原町連区でのサービス導入の準備を進めております。本サービスは、子どもに持たせた端末の電波を、地域内に設置した小型基地局で受信することで位置確認ができるものです。地域全体としてシステムを整備することで、万が一の時に役立つ社会インフラとしての機能が期待できます。

詳細については右記QRコードからHPをご確認ください。



3年ぶりの花しょうぶ祭を開催しました

報告者：萬葉公園顕彰会 会長 加藤正孝

6月4日（土）、コロナ禍で中止していた花しょうぶ祭を3年ぶりに開催しました。感染予防対策のためお茶会はできませんでしたが、琴、萩原太鼓、萩原中学校のギターマンドリン、津軽三味線の演奏で盛り上がり、体験コーナーでは箸づくりを体験してもらい、展示コーナーでは100年前のスペイン風邪の惨状と現在のコロナ感染症とを比較した展示をしました。また、夜8時からのホテル舞うタベでは幻想的な光を大勢の人に楽しんでいただきました。来年度はコロナ禍前と同様にお茶会などのイベントも復活させ2日間での開催ができることを願っています。

